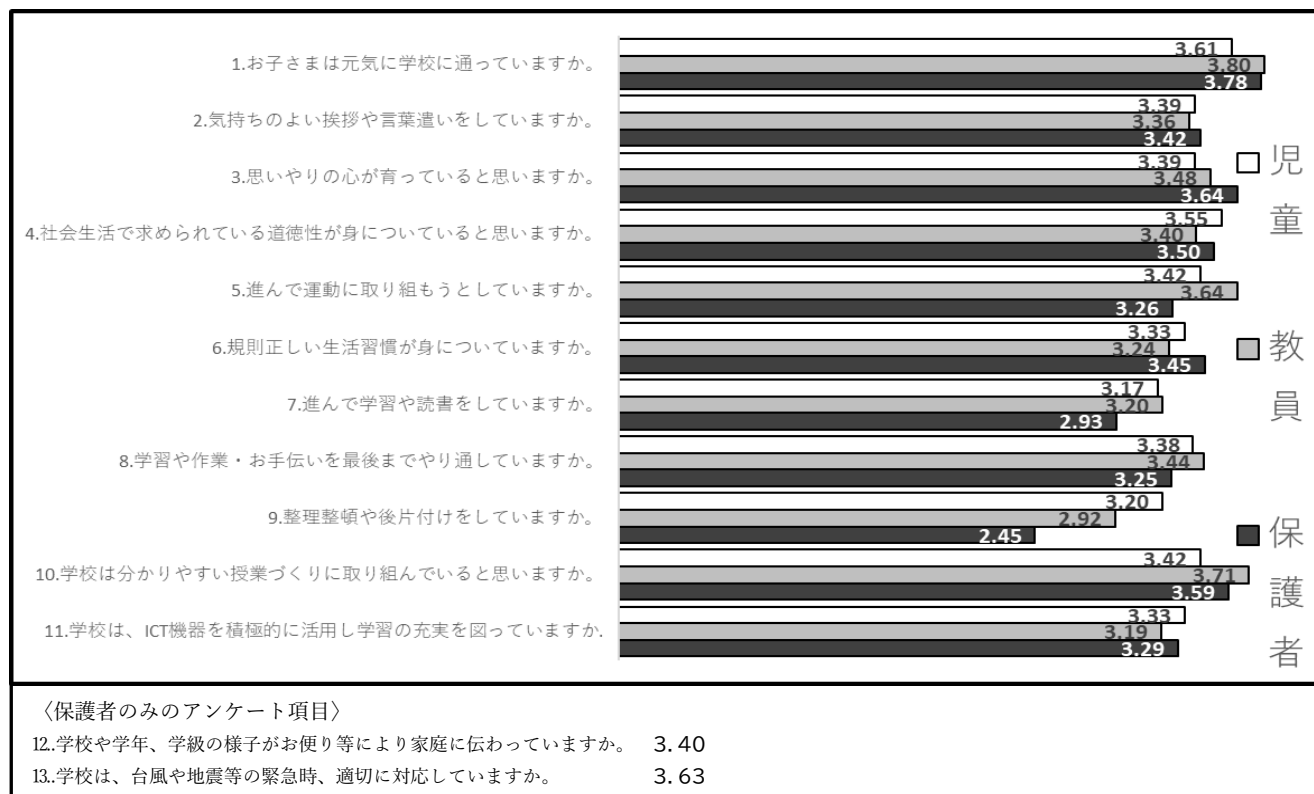


令和7年度 学校評価アンケートの結果について

日頃より、本校の教育活動にご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、11月に行いました学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。児童・保護者・教員3者で同様の質問をしたうえ、ここ3年間の推移を見ながら、比較考察しております。学校ではこの結果を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に役立てていきたいと考えております。ご協力ありがとうございました。

回答 4→そう思う 3 →少しそう思う 2→あまりそう思わない 1→ほとんどそう思わない



「1.元気に登校している」については、保護者・教員・児童ともに高い評価であり、保護者3年間の推移を見ても、全ての項目の中で最も高い評価となっています。引き続き、子どもたちが安心して学校で生活できるように、子どもたちの様子を丁寧に見守っていきます。

「2.挨拶や言葉遣い」の保護者の評価が毎年高い傾向にあります。挨拶については、本年度の重点実践目標の一つでもあるので、今後も引き続き指導を継続し、校内だけでなく、地域の方にも気持ちのよい挨拶ができる児童を育てていきたいと思います。

「3.道徳性」については、昨年度に比べ、職員、保護者の評価が伸びています。道徳教育については、学級内だけでなく、異学年交流活動や委員会活動等、教育課程全体で取り組んでいます。今後も、互いの良さを認め合い、自他を尊重する気持ちの育成に努めていきます。

「5.運動への取り組み」については、教員の評価が大きく伸びています。体育の学習では、めあてをもった主体的な学習に取り組んでおり、休み時間には外遊びを推奨し、運動をする機会を増やすように努めています。今年度は大規模改修で校庭がせまくなっていますが、運動の機会を確保し、体力の向上を目指していきます。

「7.進んで学習や読書」に関しては、児童の評価が他の項目に比べて低くなっています。主体的に学習できるように日頃の授業改善に取り組むとともに、家庭学習の取り組み方を例示したり、読書を推奨したりすることで、家庭での学習にも進んで取り組めるようにしていきたいと思います。

「9.整理・整頓、後片付け」については、3者ともに他の項目に比べ低い数値となっています。日頃の生活を見直し、整理整頓や後片付けの必要性を考えさせることで、意識が高まるように指導していきます。

「10.分かりやすい授業づくり」については、3者評価全てに高い評価が出ています。引き続き個に応じた指導の工夫や学ぶことの楽しさを感じられるような授業改善に努めていきます。